

KIITO:

+クリエイティブゼミ vol24 まちづくり編
まちづくり連続講座
-都市の魅力アップ- 開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。
この取り組みの一環として、次のとおりゼミを開催いたしますので、ぜひご参加ください。



今年度、デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は都市計画家の鳴海邦碩さんを講師に迎え、まちづくり連続講座-都市の魅力アップ-を開講します。

まちづくりの目的はさまざまですが、「都市の魅力アップ」がその核心のひとつではないかと考えます。本講座を通じて、都市の魅力アップのための糸口を知り、これからのまちづくりに取り組むための関心とマインドを育てて欲しいと考えています。

「まちづくり連続講座-都市の魅力アップ-」では、各回テーマを設定し、そのテーマに則した基調講演を講師の鳴海さんにしていただき、各回の特別ゲストからそのテーマに関するさらに掘り下げたお話をいただきます。

様々な都市でまちづくりに取り組み、都市の魅力を向上させるために、まちを「愛し」、積極的に取り組む「マインド」について、そして、これからのまちづくりに取り組む姿勢について考える場になりたいと思います。

開催概要

- | 日時 | 2017年6月20日 (火)、7月11日 (火)、7月25日 (火)、8月8日 (火) 19:00~21:00
- | 開催場所 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 3F 301・303
- | 参加費 | 無料
- | 定員 | 40名程度 (※事前申し込み制、先着順 ※各回のお申込みが必要です)
- | 申込み | 6月2日 (金) 14:00よりウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始
- | 講師 | 鳴海 邦碩 (大阪大学名誉教授、関西大学客員教授)
- | ゲスト | 泉 英明 (ハートビートプラン)、山下 裕子 (広場ニスト)、篠原 祥 (ARC 地域力研究所)、藤村 浩一 (阪急電鉄株式会社)
- | 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 | 協力 | 神戸市住宅都市局

スケジュール

- | | |
|--|--|
| 1. 公共空間の魅力アップ
6月20日 (火) 19:00~21:00 @KIITO 3F 303
Good place と Free space : 鳴海 邦碩
公共空間の使いこなし : 泉 英明 | 3. サポーター型まちづくり
7月25日 (火) 19:00~21:00 @ KIITO 3F 303
まちづくりの担い手は市民だけではない : 鳴海 邦碩
大阪、船場での実践 : 篠原 祥 |
| 2. 都市の広場
7月11日 (火) 19:00~21:00 @ KIITO 3F 303
広場の東西比較 : 鳴海 邦碩
日本のまちなか広場 : 山下 裕子 | 4. タウンスケープと街並み
8月8日 (火) 19:00~21:00 @ KIITO 3F 301
都市の顔としてのタウンスケープ : 鳴海 邦碩
茶屋町の街並みづくり : 藤村 浩一 |

<講師プロフィール>

鳴海 邦碩（大阪大学名誉教授、関西大学客員教授）

1944年、青森県生まれ。大阪大学名誉教授、関西大学客員教授。京都大学大学院修了。工学博士。都市計画、都市環境デザインが専門。日本都市計画学会元会長。同学会 防災・復興問題特別委員会委員長を務めた。大阪をはじめ関西の各地のまちづくりを支援。インドネシアをはじめアジア諸国の都市環境調査も行ってきた。主な著書に、『都市の自由空間』『都市の魅力アップ』『失われた風景を求めて』『都市のリ・デザイン』『都市デザインの手法』他多数。サントリー学芸賞、不動産協会賞等受賞。

泉 英明（ハートビートプラン）

1971年東京都生まれ。有限会社ハートビートプラン代表取締役、北浜水辺協議会理事。高松、下関、豊田、大阪なんば、岡崎のまちなか再生や公共空間のプレイスメイキング、工業地域の住工共生まちづくり、着地型観光事業「OSAKA 旅めがね」、水辺空間のリノベーション「北浜テラス」、「水都大阪」事業推進などに関わる。著書に『都市を変える水辺アクション』（共編著、学芸出版社）。

山下 裕子（広場ニスト）

1974年生まれ。全国まちなか広場研究会理事、NPO法人GPネットワーク理事。富山に移住し、演劇やアート関連イベントの企画制作に携わる。2007年よりランドプラザ運営事務所勤務。2009年（財）地域活性化センター第21期全国地域リーダー養成塾修了。2010年より（株）まちづくりとやまランドプラザ担当。2011年よりNPO法人GPネットワーク理事。2014年より広場ニストとして独立。その後、豊田・久留米・明石・神戸をはじめとする全国のまちなか広場づくりに関わる。

篠原 祥（ARC地域力研究所）

1958年愛媛県生まれ、大阪府高石市育ち。1984年、京都大学大学院建築学専攻修了後、大阪ガスに入社。大阪地区支配人を最後に2016年に退社し、姫路の建設コンサルタントを経て、現在研究者（大阪大学博士課程在籍）としてコンサルタント（ARC地域力研究所代表）としてまちづくり活動に関わっている。都市大阪創生研究会でサポーター型まちづくりを実践。また御堂筋まちづくりネットワーク、三休橋筋愛好会、大阪ええはがき研究会、ひめじまちづくり喫茶などの活動にも関わっている。著書に『都市の魅力アップ』（共著、学芸出版社）。

藤村 浩一（阪急電鉄株式会社）

1964年京都市生まれ。まちづくりに興味をもち、京都大学大学院（交通土木工学専攻）で都市/地域計画を学ぶ。阪急電鉄に入社し、沿線のまちづくりを担当。梅田/茶屋町地区の再開発については、企画段階から事業完了までの一連を担当した。現在も、沿線価値向上を目指したまちづくりの推進に携わっている。

